

余白取り方と色の指定

今回は余白取り方と色の指定の仕方について学んでいきます。

余白の取り方はHTMLをきれいに作る上でとても重要なので慣れていきましょう。

余白

HTMLでレイアウトを組んでいく上で余白を取ることはとても重要です。

余白の取り方もいくつか方法がありますが代表的なものを紹介します。

実際に確認して欲しいのでHTMLファイルとCSSファイルを作成してください。（CSSファイルを読み込むことをお忘れないように）

準備ができれば下記のコードをそれぞれのファイルにコピーしてください。

```
<!-- HTML -->
<div class="flex">
  <div class="red--box"></div>
  <div class="green--box"></div>
</div>
<div class="gray--box"></div>
```

```
@charset "utf-8";

body {
  margin: 0;
}

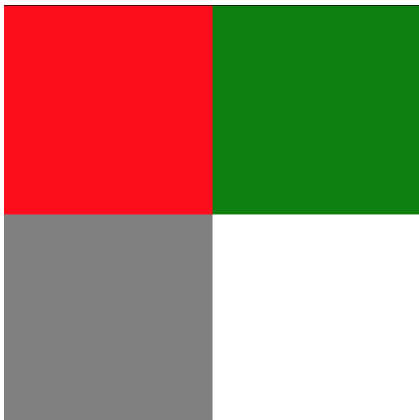
.flex {
  display: flex;
}

.red--box {
  width: 300px;
  height: 300px;
  background: red;
}

.green--box {
  width: 300px;
  height: 300px;
  background: green;
}

.gray--box {
  width: 300px;
  height: 300px;
  background: gray;
}
```

画像のように表示できていたら成功です。

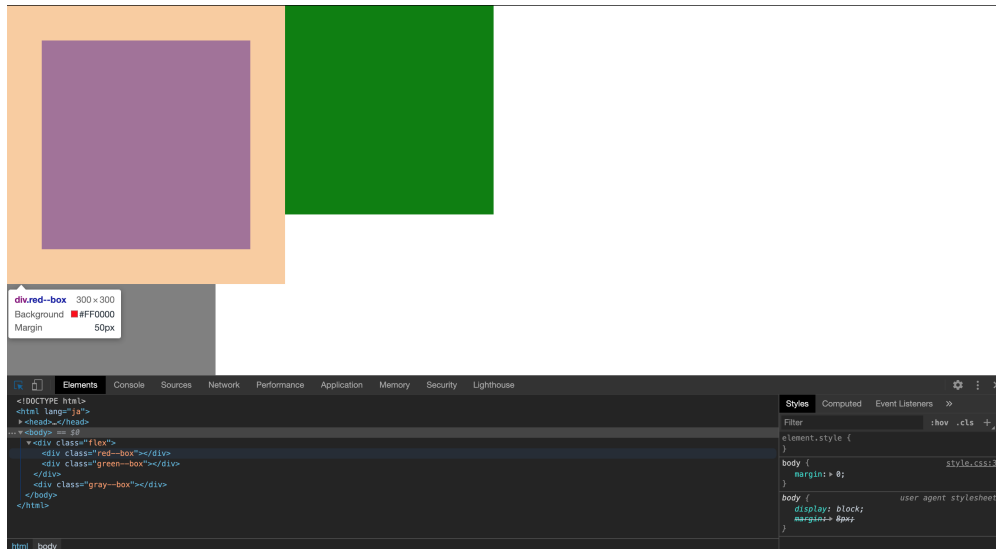


margin

marginは**要素と要素の間**に余白を作りたい時に使用します。

.red--boxの中に**margin: 50px;**と書いてみてください。

画像のように表示できていたら成功です。



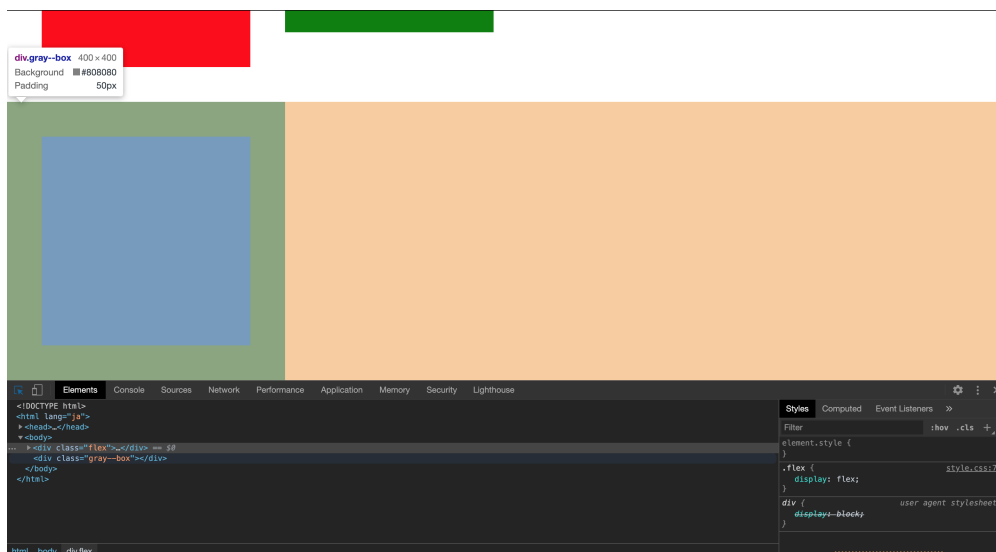
赤色の箱の周りがオレンジ色になっているかと思いますが、デベロッパーツールで確認した時に**margin**で取られた余白はオレンジ色で表示されます。

padding

paddingは**要素の内側**に余白を作りたい時に使用します。

.gray--boxの中に**padding: 50px;**と書いてみてください。

画像のように表示できていたら成功です。



灰色の箱の中の緑色の部分があるかと思いますが、デベロッパーツールで確認した時に**padding**で取られた余白は緑色で表示されます。

padding書いた要素に背景色が指定してある場合はその色が引き延ばされます。

方向を指定して余白を取る

先ほど説明では上下左右に余白が取られてました。

ですが、場合によっては上だけ余白を取りたいと言ったケースもあります。

方向を指定して余白を取ることもできます。

※`margin`を使って説明しますが`padding`も同様なので割愛します。

上の方向に余白を取る

`margin-top`もしくは`margin: 50px 0 0 0`で上部のみに余白が取れます。

右の方向に余白を取る

`margin-right`もしくは`margin: 0 50px 0 0`で右部のみに余白が取れます。

下の方向に余白を取る

`margin-bottom`もしくは`margin: 0 0 50px 0`で下部のみに余白が取れます。

左の方向に余白を取る

`margin-left`もしくは`margin: 0 0 0 50px`で左部のみに余白が取れます。

上下に余白を取る

`margin: 50px 0`で上下に余白が取れます。

左右に余白を取る

`margin: 0 50px`で上下に余白が取れます。

色の指定方法

現在箱の色の設定を名称を指定していますが、実務などではできるだけ使わないようにしましょう。

Web制作では基本的にデザインツールで作成されたデザインカンプをもとに作成しますが、基本的にrgbの値か16進数のカラー番号で指定されています。なので制作者側もそちらで合わせるようにする必要があります。

rgb、16進数のカラー番号についてはご自身で調べてください。

また、名称で指定できる色は限定されているのでプライベートで制作する時もできるだけ使用は避けましょう。

コメント

作業をしている時に書いているコードを消したくないが、ブラウザに反映させたくない、コードの中に簡単なメモ書きを残しておきたい時があります。

その時に使うのがコメントです。

これを使用するとコードやメモを書いてもブラウザが読み込んだ際、コメントと処理され、ブラウザに反映もされず、エラーも出ません。

HTMLとCSSではコメントの書き方が違います。

HTMLは`<!-- -->`、CSSは`/* */`です。

```
<!-- HTML -->
<!-- ここに書かれた文字はコメントとして処理されます -->
```

```
/* CSS */
/* ここに書かれた文字はコメントとして処理されます */
```

ただ手で書いていると時間がかかってしまいます。

VsCodeだと、`command + /`でコメント化してくれます。

コメント化したい部分を選択して`command + /`でコメント化します。解除する時はコメント化されている箇所を選択して`command + /`で解除できます。

課題

`margin`と`padding`の使い分け方を自分なりの言葉でまとめてください。